

岩手県の森林に貯蔵している炭素量

1.はじめに

近年、地球の温暖化が注目されており、二酸化炭素濃度の上昇がその原因の一つと言われています。

森林には二酸化炭素を貯蔵し温暖化を抑制する重要な働きがあると考えられていますが、はたして森林にはどれくらい貯蔵されているのでしょうか。岩手県の森林について推定してみました。

2.推定方法

樹木については、樹木の炭素量は樹種によらず概ね50%とし、林業統計要覧(1998)の蓄積量から、枝葉等を含めた値に換算し、容積密度数(乾燥前の材積に対する全乾重量の比)を乗じて推定した。

また、土壌については、民有林適地適木調査(昭和44~53年実施)の化学分析の値

から、深さ1mまでの土壌型別炭素蓄積量を推定し、土壌型別の面積に乗じて推定した。

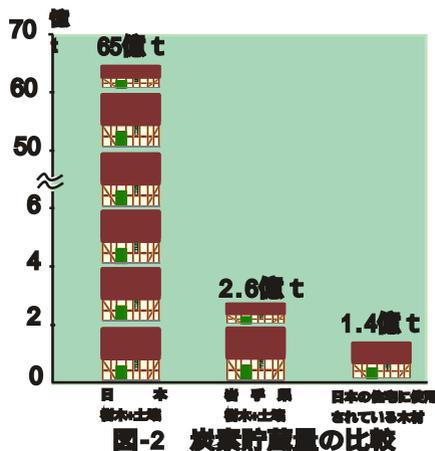
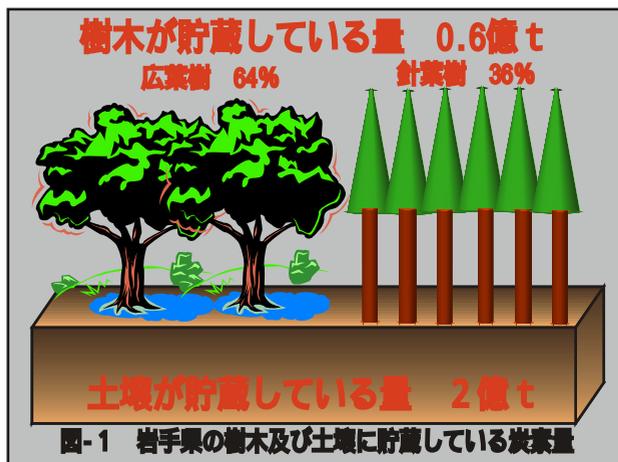
3.推定結果

推定の結果、樹体に0.6億t、森林土壌に2億t、合わせて2.6億tが岩手県の森林に貯蔵されていることが分かりました(図-1)。

これは、日本全体の住宅の木材に貯蔵されている炭素量の約2倍の量に相当することになります。(図-2)

4.今後の進め方

現在ある森林の10~50年後の二酸化炭素貯蔵量の予測、広葉樹林と針葉樹による違い、森林の管理方法による違い、間伐材等の有効利用による貯蔵能力の向上などについて調査する予定です。



参考資料: 「地球温暖化と森林・木材」日本林業技術協会より



写真 スギ高齢人工林(83年生、浄法寺町)

平均樹高 40m、平均胸高直径 53cm
材積 1,100m³/ha、立木本数 290本/ha



写真 スギ高齢人工林(160年生、浄法寺町)

平均樹高 40m、平均胸高直径 76cm
材積 1,370m³/ha、立木本数 230本/ha

多くの二酸化炭素を長期間樹体内に貯蔵する間伐のゆきとどいたスギ人工林

(担当: 森林資源部 専門研究員 栗野 義之)

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第3地割字清水560-11

岩手県林業技術センター

ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>

TEL 019-697-1536

FAX 019-697-1410